

別表

**令和6年度商店街支援人材育成研修事業業務委託
企画提案競技に係る審査基準**

表1の「業務委託企画提案評価表」に基づき、各審査項目について評価し、表2の採点基準により採点する。(100点満点)

表1 業務委託企画提案評価表

| 審査項目 | 審査内容 | 配点 | 項目 |
|--|--|-----|-----|
| a.基本方針 | 1 本事業の目的や背景などを踏まえ、本業務を受託・実施するに当たってのコンセプトは適切か。 | 5 | 5 |
| b.提案内容 (セミナー) | 2 参加者の想定人数は適切か。 (※仕様で定めている人数を満たさない場合、配点は1とする。) | 5 | 30 |
| | 3 セミナー開催回数は適切か。 (※仕様で定めている人数を満たさない場合、配点は1とする。) | 5 | |
| | 4 セミナー実施会場は研修を効果的に実施できる場所を候補としているか。 | 5 | |
| | 5 商店会員と市町村、商工団体が連携し商店街の活性化につながった事例を題材としているか。 | 5 | |
| | 6 上記5の内容について、本事業実施にあたり効果的な内容となっているか。 | 5 | |
| | 7 取り扱う事例の候補が複数提案されているか。 | 5 | |
| c.提案内容 (ワークショップ) | 8 参加者の想定人数は適切か。 (※仕様で定めている人数を満たさない場合、配点は1とする。) | 5 | 35 |
| | 9 ワークショップ開催回数は適切か。 (※仕様で定めている人数を満たさない場合、配点は1とする。) | 5 | |
| | 10 ワークショップ実施先については、県内の商店街の状況を踏まえた候補が複数提案されているか。 | 5 | |
| | 11 参加希望者に対して実施する事前説明会の内容は適切か。 | 5 | |
| | 12 参加者である商店会員等及び市町村・商工団体職員が「相互の関係構築」「商店街活動に対する意識の改革(マインドチェンジ)」「商店街活性化に向けた企画・実行力の向上」の各フェーズを段階的に習得するために効果的なプログラムとなっているか。 | 5 | |
| | 13 上記12の内容について、本事業実施にあたり効果的な内容となっているか。 | 5 | |
| 14 県内商店街の状況を把握し、集合研修及び商店街での実践を組み合わせた内容となっているか。 | 5 | | |
| d.募集チラシの作成 | 15 参加者募集用チラシ案は参加者へ効果的に周知を行うことができるものになっているか。 | 5 | 10 |
| e.研修記録の作成 | 16 研修の内容及び効果をまとめた記録案は完結にまとまっているか。 | 5 | |
| f.業務の管理体制 | 17 コーディネーター、セミナー講師及びワークショップファシリテーター等業務に従事する者は経歴、資格、実務経験を有し、本業務を遂行するための十分な知見・ノウハウを有しているか。 | 5 | 15 |
| | 18 責任者、役割分担等が具体的に示され、県の要請に応じて即時の対応ができる体制となっており、本業務を確実に履行すると認められるか。 | 5 | |
| | 19 当該業務を確実に履行できるスケジュールとなっているか。 | 5 | |
| g.事業経費 | 20 必要な経費が計上されており、予算範囲内で費用対効果に優れた積算となっているか。 | 5 | 5 |
| 合計 | | 100 | 100 |